



日本遠隔医療学会雑誌 第6巻 第2号
平成22年9月

Japanese Journal of Telemedicine and Telecare
Vol.6 (2), 2010

JTTA 2010 MISHIMA

日本遠隔医療学会

Japanese Telemedicine and Telecare Association

目次

JTTA 2010 MISHIMA 日本遠隔医療学会学術大会

・ 大会会場アクセス図	90
・ 大会会場案内図	91
・ 大会スケジュール	93
・ 大会プログラム	95
・ 演題プログラム	97
・ 学会長挨拶 (原 量宏)	100
・ 大会長挨拶 (中島 功)	100
・ JTTA 2010 MISHIMA 協賛企業一覧	101
・ JTTA 2010 MISHIMA 実行委員会	101

演題

○分科会 ① 過疎地・離島医療ネットワーク分科会／モバイル国際遠隔医療分科会

・ 携帯電話による本人認証技術を用いた PHR システムの開発 (吉田 晃敏)	104
・ 住民の健康増進を目的とした遠隔運動支援方法に関する検討 ー インターバル速歩を用いた運動支援の有効性ー (林 弘樹)	106
・ 医療連携を促進する遠隔医療システムの有用性の評価 (守屋 潔)	108
・ 退院患者を対象とした遠隔在宅療養支援システムの研究開発 (三上 大季)	111

○分科会 ② 在宅医療分科会

・ 新見地区医療介護への TV 電話利用の試み (その 6) ー 地域 ICT 利活用モデル事業「新見あんしんねっと」事業報告ー (太田 隆正)	114
---	-----

○分科会 ③ 厚生労働省科学研究費補助金研究報告

・ 在宅での遠隔医療実施に関する研究 厚生労働省科学研究費補助金研究、平成 20 ～ 21 年度総括報告 (酒巻 哲夫)	117
・ 遠隔医療の現状の研究 (米澤 麻子)	121
・ 携帯電話 ecological momentary assessment の肥満 2 型糖尿病に対する効果 (森田 浩之)	123
・ 沼田利根医師会、病院群輪番制参加病院を中心とした 遠隔医療技術を用いた地域救急医療ネットワーク基盤の構築 (郡 隆之)	125
・ パソコンによるテレビ電話と生体センサのデータ送信システムを組み合わせた テレケアシステムの実用実験 (本間 聡起)	129
・ 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) で在宅酸素療法 (HOT) を受ける患者に対する テレナーシング実践の費用対効果の検討 (亀井 智子)	133
・ テレナーシング看護モニターセンターにおける在宅 HOT 患者のテレナーシング時間と内容の検証 ー ランダム化比較試験介入群 12 例の報告からー (山本 由子)	136

○分科会 ④ 救急医療分科会

- ・ 車載 IT システムの活用を中心とした遠隔救急医療体制の構築についての提言
－ GEMITS を用いた新しい世界－ (熊田 恵介) 139
- ・ 複数医療機関で共有する救急現場からの映像伝送 (貞森 拓磨) 141
- ・ 四分検出器を用いた陸上移動体 Ku 帯衛星追尾の性能確認 (十蔵寺 寛) 143
- ・ 路面凹凸による過大振動成分を利用した陸上移動衛星通信の追尾性能向上に関する研究
－ 救急車から送信される動画像の高品質化を目指して－ (北野 利彦) 145
- ・ メディカルコントロール用 UNIVERS 型三面スクリーンの開発
－ ポインタと音声入力によるコマンド入力、最適な没入感－ (猪口 貞樹) 147
- ・ ITU-D SG2 課題 14 における mobile e-health (中島 功) 149

○一般演題 ① 法制度特別セッション

- ・ 国境を越える医療 ー 医師法第十七条・十八条に関連してー (池田 正見) 152
- ・ 移動体通信の救急搬送における法的な裏付け
ー 救急救命士法第四十四条、医師法第十七条・第二十条ー (中島 功) 154
- ・ 遠隔医療における対面診療の法的評価 ー 医師法第 20 条に関連してー (富岡 康充) 156
- ・ インフルエンザ電話相談 ー 医師法第二十条との係わりー (木ノ上 高章) 160

○一般演題 ② 経済特別セッション

- ・ 遠隔医療における標準化問題 ー 標準化と特許権の関係からの考察ー (石川 誠) 162
- ・ 医療マイクロデータを用いた救急救命医療に関する実証分析と遠隔医療の可能性 (峰滝 和典) 164
- ・ コミュニティを活用した遠隔医療の可能性 ー 東京都奥多摩町での実験からー (今村 晴彦) 167
- ・ 在宅健康管理システムと四大生活習慣病の医療費に関する実証分析 (明松 祐司) 171

○一般演題 ③ 高齢者 (1)

- ・ 多職種参加の地域連携 IT 化の取り組み
ー 多摩胃ろうネットワーク PEG 地域連携パス IT 化によるー (小池 順平) 175
- ・ e-mail によるコミュニケーションの促進と効果に関する研究
ー 寒冷地冬期の高齢者の心身健康増進支援ー (作宮 洋子) 179
- ・ 遠隔看護システム開発の現状と展望 (北山 秋雄) 183
- ・ 認知症高齢者の学際的チームアプローチによるケアの質評価 Web システム
ー 使用前後における利用者ならびにチームアプローチの変化の検討ー (梶井 文子) 186

○一般演題 ④ 救急医療・地域連携

- ・ 埼玉県東部の胎児遠隔診断システムの構築 (第 2 報) (菱谷 隆) 190
- ・ Server Based Computing (SBC) を用いた地域医療連携の現在と計画
ー 標準化をめざしてー (近藤 博史) 192
- ・ テレビ会議システムを用いたシミュレーション教育
ー 離島での心肺蘇生法普及への活用事例ー (久木田 一期) 195
- ・ 次期モバイル・テレメディシンの開発研究 ー プロトタイプの作成ー (高橋 毅) 197

○一般演題 ⑤ 技術検証

- ・ コミュニケーション RT (ロボット技術) を用いた高齢者在宅遠隔健康管理・支援
システムの開発 (第一報) ー 遠隔健康管理ネットワークによる地域医療支援の提案ー (藤岡 睦久) 199
- ・ CRPS のための没入型治療システムの研究開発 (福森 聡) 203

・ 電子診療鞆の展開と評価 (杉田 典大)	207
・ 遠隔医療インフラ整備の地域差とその克服 –自治体広域 LAN 活用の可否– (花田 英輔)	211
○ 一般演題 ⑥ 高齢者 (2)・疾病管理	
・ 高齢者見守りシステムとしての転倒検出 (宮城 慶介)	215
・ TV 会議システムを用いた島嶼地区 (宮古島) 認知症市民講座 –家族会の立ち上げからみえてくるもの– (竹井 太)	219
・ CPAP や ASV 治療を必要とする在宅患者の支援方法の研究 –チームによる電話相談サポートの有用性について– (熊谷 浩一)	221
・ インターネットを利用した遠隔嚙下評価 (齊藤 淳)	224
○ 一般演題 ⑦ ハイビジョン・国際支援	
・ Internet Protocol Television 技術の遠隔医療への応用 (寅田 信博)	226
・ 低コストで実現可能なハイビジョン映像の伝送 –無料 IPTV 網の活用の利点と問題点– (三瓶 宏一)	230
・ 大学病院・県立病院間連携ハイビジョン画像ネットワーク –麻酔・手術のライブ研修と診療支援– (滝沢 正臣)	234
・ 遠隔医療の報告 –医療のグローバル化に寄与する応用事例– (嗣江 建栄)	236
・ 群馬県国際課と NPO との協働事業 –医療通訳等コールセンター運営管理事業– (瀧澤 清美)	238
・ 途上国都市部近郊での住民参加型医療システムは実現可能か –ベトナムのハノイ市の総合病院での調査を中心に– (勝間田 実三)	240
○ 一般演題 ⑧ 新たなアプローチ	
・ Why do telemedicine networks in Korea and Japan show different geographical characteristics?: Case studies of Choongbook and Kagawa (朴 秀京)	244
・ ネット相談システムとしての“カラダのみはり番ネット”の有用性と今後の課題 (二宮 淳一)	247
・ がん用語らしきシンボル (CThS) によるがん情報表現方式 (中川 晋一)	250
○ JTTA からの報告	
日本遠隔医療学会・平成 22 年度通常総会議案書	256
・ 平成 21 年度 活動報告および決算	256
・ 平成 22 年度 活動計画および予算	259